

就職

株式会社イトーヨーカ堂

中学生の頃から高校を卒業したら就職をしたいと思っていたので就職することを決めました。職業にも多くの種類がありますが、私は人と接することのできる接客業を希望しました。

1学期の間は部活動もあり、企業を探すことよりも一般常識の勉強を中心に取り組みました。どの企業を受ける場合でも必要なことなので、総合学習の時間と通学の時間を利用して勉強しました。思っていたよりも内容が難しく、解けない問題が多くあったので焦ってしまうこともありましたが、何度も繰り返し考えて少しずつですが解けるようになっていきました。

最終的に企業を決めたのは夏休みの終わり頃でした。企業見学をする前までは他の企業を受験しようと思っていたのですが、企業見学で企業の雰囲気を実際に感じ、仕事内容等を詳しく聞いて、この企業で接客の仕事をしたいと思い、決めました。

受験企業決定後は、面接の練習を中心に行いました。担任の先生を中心に、進路関係の先生方にも練習の相手をしていただきました。面接には少し自信があったのですが、多くの先生方に相手をしていただき、様々な角度からのご指摘をいただきました。そのおかげで、受験当日の面接では落ち着いて答えることができたのだと思います。

内定の通知をいただいた時は嬉しく思った反面、「社会人になるんだ」と不安な気持ちにもなりました。しかし現在は、少しでも早く社会人として恥ずかしくないように頑張っていこうと思う気持ちでいっぱいです。

最後に、進路関係でお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

これから進路を決めていく皆さん、自分で決めたことは最後まで諦めずに頑張ってください。

イチカワ株式会社

私は学校幹旋で会社の試験を受けました。私がなぜこの会社に入社しようと思ったかという、幼い頃から何か物をつくったりするのが好きだったという事と、誰かの役に立つような仕事をしたいと思っていたからです。イチカワ株式会社さんは主にフェルトを製造しています。その中でも私が一番興味を持った物は紙をつくる時に使用するフェルトです。今の社会では紙は様々な物に使われていて、なくてはならない物となっています。その紙をつくる時に必要なフェルトをつくるということは、とてもやりがいがあり、誇りを持つ様な仕事だと思い、この会社に入社したいという気持ちが強くなりました。試験に向

けてして苦勞した事は2つあります。1つ目は総合学習の時間にした一般常識の問題やマナーの問題です。高校生とは違い、社会人になり、社会に出ると細かい行動1つとってもその行動が相手にとって失礼であったりするので覚えるのがとても大変でした。2つ目は面接練習です。面接ではただ言う事を暗記するだけでは予想していない事を質問された時に混乱してしまうので、言いたい事を箇条書きにして、それを質問によって色々組み合わせで言えるようにしておくが良いと思います。また実際の試験の面接では知らない人と面接をする事が多いので、たくさんの先生方に面接練習の相手をしてもらい、緊張に対する免疫をつけられると思います。自分が会社に内定する事が出来たのは担任の木村先生やイチカワ株式会社を紹介してくださった川田先生、その他にも協力してくれた周りの人達の支えがあったからこそだと思います。本当に感謝しています。これから社会にでたら、今まで学んできた事を生かして早く立派な社会人になれるよう精一杯頑張ろうと思います。